

地域連携NEWS

東京都健康長寿医療センター
地域連携部医療連携室

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL 03(3964)1141(代表)

FAX 03(3964)1392(医療連携室)

2011.11 発行

心臓外科の世界的権威、 許俊鋭 先生が副院長に就任しました！



許俊鋭 副院長

(東京大学重症心不全治療
開発講座兼任)

心臓移植や人工心臓などの高度な心臓外科手術の権威である許俊鋭先生が10月より当センターの副院長にご就任され、同時に心臓外科の責任者も兼任していただくことになりました。なお、心臓外科の責任者としてご活躍いただいた五條先生は京都府立医科大学の教授にご栄転されました。また10月からは東京大学心臓外科の小野教授が当センターの顧問にご就任いただきました。スタッフの充実によって当センターがわが国の心臓病治療の中心的存在として大きく飛躍することが期待されます。(副院長 桑島)

就任のご挨拶

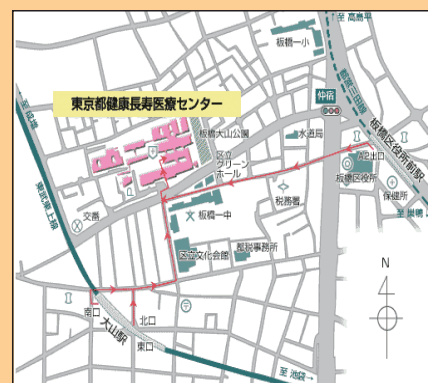
現在、癌をはじめとする悪性新生物が日本人の死因の第一位となっていますが、高血圧症を除く循環器疾患は死因の第二位を占め毎年18万人前後の患者様が亡くなっています。一方、国民医療費の中で循環器疾患が占める割合は悪性新生物を遥かに凌駕していて、繰り返す「心不全」による入院治療がその大きな要因となっています。冠動脈疾患や弁膜症に対しては外科的・内科的治療が急速に進歩していますが、心不全治療は今後の課題であります。心不全は高齢化とともに進行し、入退院を繰り返すことにより患者様は極めて低いQOLを強いられ、医療コストも極めて大きなものとなっています。高齢者循環器疾患対策、特に「心不全対策」は当センターの大きな臨床研究課題であり、先進的な心不全外科手術、カテーテルインターベンション、人工心臓治療、心臓再生治療などをこれから積極的に推し進めていきたいと考えています。

一方、心臓リハビリも極めて重要な心不全治療法であり、今、臨床研究が進んでいる和温療法(低温乾式サウナ治療)や体外式カウンターパルセーション治療(大動脈バルーンポンピング=IABPを体外式に非侵襲的に行うシステム)などの先進的心臓リハビリテーション治療も積極的に取り入れていき、患者様の社会復帰に役立てたいと考えております。

これらの先進的治療を通じて、地域の皆さんと力を合わせて心不全在宅治療を発展させていくことができれば幸いに存じます。どうか、よろしくご指導・ご鞭撻をお願いいたします。



地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL



アクセス

- 東武東上線「大山」駅下車、南口・北口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線「板橋区役所前」駅下車A2出口より徒歩10分(徒歩80m/分)
また、お車でお越しの方に駐車場(駐車料無料)も御用意しておりますが駐車台数に限りがあるため、あらかじめご承知おきください。

冠動脈のインターベンション

— 狭心症、心筋梗塞が疑われると思われたら患者様をご紹介下さい —



循環器内科 部長
藤本 肇

今日、虚血性心疾患に対する治療として冠動脈インターベンションが広く行われております。一般に高齢の患者様に対する冠動脈インターベンションは合併症のリスクが高くなるため敬遠されがちですが、当院の調査では高齢な患者様ほど心筋梗塞・不安定狭心症に対して早期に冠動脈インターベンションを施行した方が死亡率を低減できることがわかっております。即ち、高齢者ほど冠動脈インターベンションによる恩恵を受けるとも言えます。虚血性心疾患を早期発見することが大切ですが、実際には主訴や心電図所見のみでは確定診断をつけにくい場合も少なくありません。そのような場合には、ご遠慮なく当院へご紹介下さい。当院では循環器外来を毎日開設し、随時紹介患者様を受け入れています。また急性心筋梗塞患者様については毎日当直・オンコールを置き、

24時間カテーテル検査・治療を行うことができる体制をとっています。

当院では患者様の負担を最小限にするために、冠動脈造影もインターベンションも橈骨動脈から行うことを原則としております。また事前に心臓核医学検査やCTで病変の有無を予測し、冠動脈造影で病変を確認できたらその場で治療を行い入院期間の短縮を心がけています。また高齢患者様においてしばしば見られる高度石灰化病変に対しては、ダイヤモンド・チップをコーティングしたバーを高速回転して石灰化を切削して冠動脈を拡張させるロータブレーターという治療器具の施設認定を取得しております。

スタッフ一丸となって地域の循環器診療に貢献していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

検査予約のご案内

CT, MRI, RI, 骨密度 (一般撮影)

<予約電話> 03 - 3964 - 1141 (代表)

◆ CT (2244) ◆ MRI (2220)

◆ RI (2241) ◆ 骨密度 (一般撮影) (2247)

原則は予約制ですが、緊急の場合は当日もお受けいたします。

それぞれ希望する検査ごとに、上記内線へご依頼ください。

電話受付時間/各検査時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00



超音波検査

<予約電話> 03 - 3964 - 1141 (代表)

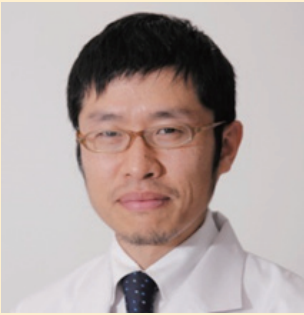
●腹部超音波 (2262) ●心臓超音波 (2268) ●体表超音波 (2262)

それぞれ依頼される検査ごとに、上記内線へご依頼ください。

電話受付時間/各検査時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00

※検査日時が限定されている場合もあります。

膠原病・リウマチ科のご案内



膠原病・リウマチ科 副部長

杉原 毅彦

いつも当科に患者様をご紹介いただき有難うございます。おかげさまで当科では関節リウマチ、悪性関節リウマチ、血管炎症候群（顕微鏡的多発血管炎、ウェグナー肉芽腫症、アレルギー性肉芽腫性血管炎、側頭動脈炎など）、皮膚筋炎、多発性筋炎、リウマチ性多発筋痛症を中心に当科かかりつけの患者様が增加しております。また一般病院でありながら、厚生労働省の関節リウマチの研究班と ANCA 関連血管炎の研究班に所属しており、積極的に加療を行っております。皮膚筋炎に関連した間質性肺炎の症例も増加してきております。また不明熱につきましては感染症科へご紹介いただくことが多いと思いますが、当科でも対応しております。CRP 高値等の炎症反応を伴った不明熱の精査は、診断が遅れるほど患者様の全身状態が悪化しますので、入院精査いたします。外来、入院ともにお困りの患者様がおりましたら当科に直接電話

でご紹介お願いいたします。成人スティル病、全身性エリテマトーデス、強皮症、混合性結合織病、抗リン脂質抗体症候群、ベーチェット病の症例も増加してきております。これらの患者様は若い方が多いですが、年齢と関係なく診療しておりますので、抗核抗体陽性の患者様等ご紹介お願いいたします。

関節リウマチに関しましては、早期から MTX を中心とする抗リウマチ薬による治療介入が重要となってきました。一方で高齢者は合併症のリスクが高く、外来でリスクマネージメントが重要となります。関節リウマチを疑うような患者様がおりましたら、早期から当科にご紹介いただきたいと思います。新患外来予約は速やかに取れるように体制を整えております。高齢者の場合、急性発症で短期間に ADL が低下する場合がありますので、その場合は直接当科へ電話でご連絡いただければ対応いたします。ご紹介の際はステロイド療法をなるべく行わないで早期にご紹介お願いいたします。また、リウマチ専門医の先生方で MTX 抵抗性の患者様でお困りの患者様がおりましたら、当院は高齢発症 RA に対する生物学的製剤の使用経験が豊富ですのでは是非ご紹介お願いいたします。

リウマチ性多発筋痛症疑いの患者様につきましては、リウマトイド因子陰性の関節リウマチと区別が難しいケースが多くあります。また、側頭動脈炎やその他の血管炎を合併していることがあります。患者様の状態によっては入院精査で対応しますので、ステロイドでの治療反応性を確認する前に当科に早急にご紹介いただけますと幸いです。

血管炎につきましては肺病変や腎病変主体の場合も当科が中心となり腎臓内科、呼吸器内科と連携しながら加療しております。MPO-ANCA や PR-3ANCA 陽性の患者様がおりましたらご紹介お願いいたします。

皮膚筋炎、多発性筋炎につきましても、神経内科専門医、神経病理専門医と連携しながら、筋炎、間質性肺炎とともに当院では積極的に受け入れております。神経病理専門医がいる病院は日本全体で見ても希少であります。是非ご紹介お願いいたします。

紹介ポイント

1. 爪床の甘皮延長と出血点、毛細血管拡張

膠原病患者様に共通して認められる特徴です。このような指の患者様に間質性肺炎等の呼吸器症状が認められる場合は膠原病関連の肺病変の可能性が高いです。また、このような患者様は抗核抗体陰性でも膠原病が疑われますのでご紹介ください。

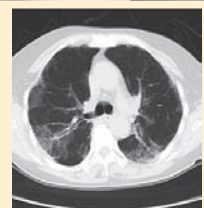


2. 間質性肺炎、両側胸膜炎、抗生剤無効の肺炎などの肺病変、血尿、タンパク尿、円柱尿などの腎病変があり、膠原病が疑われる患者様。

3. 抗核抗体や抗 CCP 抗体、リウマトイド因子陽性例

4. 抗生剤無効で ADL もともとと良好な方の発熱、感染症のフォーカスがはっきりしない炎症反応高値例

5. 炎症反応高値を伴って関節痛が出現してきた患者様。



平成23年度下半期 公開CPCのご案内

平成23年度下半期の公開CPCを下記のとおり予定しております。
たくさんの先生方のご参加をお待ちしております。

- 平成23年11月24日(木) 19:30～ 健康長寿医療センター3階医局会議室
血液内科症例 : 多発性骨髄腫
血液内科 小島 理絵 医師
- 平成24年1月26日(木) 19:30～ 健康長寿医療センター3階医局会議室
神経内科症例 : 筋萎縮性側索硬化症疑い
神経内科 椎名 盟子 医師
- 平成24年2月23日(木) 19:30～ 健康長寿医療センター3階大会議室
神経内科症例 : 尿路感染症、腎盂腎炎
神経内科 仁科 裕史 医師
- 平成24年3月(日時未定)
(東京都保健医療公社豊島病院との合同CPC)

*事前申込不要、参加費無料です。

*現在、新築工事の実施に伴い、駐車場スペースが大幅に縮小されております。ご来院の際は、なるべく公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

中高年のための健康講座

一般の方向けの講演会を開催いたします。どなたでもご参加いただけます。
たくさんのご参加をお待ちしております。

●放置していませんか、胸の痛みと動悸

講演内容

1. 「心臓病を防ぐ生活習慣の管理」
板橋区医師会(弓倉医院院長) 弓倉 整
2. 「胸の痛み -狭心症と心筋梗塞の最新の治療」
東京都健康長寿医療センター 循環器内科部長 藤本 肇
3. 「そのドキドキが怖い -心房細動の新しい治療-」
東京都健康長寿医療センター 循環器内科 石山 泰三

日 時:平成23年11月19日(土) 午後1時～3時30分

場 所:板橋区立文化会館 大ホール(定員1200人)

申込方法:当日先着順、申込不要です。(参加費無料)

共 催:社団法人板橋区医師会

後 援:板橋区